電子黒板

2億5千万円の戻し入れや財政調整基金4億1千万円を積み増し、財政基盤を固めるとともに、第4次総振に沿った事業も大きく進展しました。

学校整備では、三輪野江小校舎の耐震診断と耐震補強・大規模改修工事設計並びに、三輪野江小・南中学校体育館の耐震診断が実施された他、スクールニューディール政策に基づく事業を実施。食育では、食育推進計画の策定、吉川産米米粉パン給食が導入されました。

「新駅」は、23年度開業へ向けた工事施行協定が結ばれ、中央土地では、第一調整池の暫定稼働による浸水被害の軽減が図られました。また、まちづくり交付金や雇用対策等、各種補助金を活用した事業を進めた事は評価でき、21年度決算に同意致します。

今後の市政運営については、「行財政改革のさらなる推進」・「市政の透明化」・「市民要望の把握と対応力の向上」を求めます。

事業の優先順位、成果と課題を明らかにし、徹底したコスト削減と効率的行政運営に努めるとともに、市職員の意識と専門性向上を期待し、賛成討論といたします。

賛成討論

自由民主党吉川市議員団　山﨑　勝他

平成21年度の決算額は、前年度と比較いたしますと、歳入総額は、約10億8千万円の増となっており、歳出総額は、約9億3千万円の増となっております。歳入では、定額給付金や学校づくり交付金の国庫支出金の増、都市計画税の創設により、市税が約2億5千万円の増となっている。一方、地方交付税の減、臨時対策債の増など依然として厳しい状況が続いているものと憂慮しております。次に歳出ですが、後期基本計画の重点テーマに沿ってみますと、「安全安心のまちづくり」ですが、全国各地で発生し、ゲリラ豪雨など、いつ起きるか分からない災害に対し、吉川中央第一調整池の整備が進められたことは水害対策に真剣に取り組まれているものと評価しております。また、北谷小、南中学校の耐震大規模改修工事を実施されたことは、子どもたちの安全を確保し、豊かな教育環境が整備されました。

「子どもを産み育てられるまちづくり」ですが、子ども医療給付費を中学校3年生までの入院費に拡大されましたことは、少子化対策として効果があるものと期待しております。次に「自立する活動的なまちづくり」ですが、新たな都市拠点として吉川美南駅の建設工事が開始されました。将来の大きな可能性を秘めた事業として期待を寄せております。今後とも、歳入に見合った歳出構造への転換を図り、魅力あるまちづくりへの取り組みを期待いたしまして、賛成討論といたします。

賛成討論

公明党吉川市議団　五十嵐　恵千子

平成21年度は経済危機の中、限られた財源を市民生活と優先度の高いサービスの提供に活用すると共に、定額給付金や子育て応援特別手当、緊急雇用対策等、緊急経済対策にも速やかに対応した予算執行であったと考えます。

注目すべき点は、配偶者暴力相談支援センターの開設、安心リュックの配布と新型インフルエンザ大流行に備えた訪問サービス、食育推進計画の策定、フレンドパーク新事業所の開設、次世代育成支援地域行動計画の策定、妊婦無料検診14回までの拡充、乳がん・子宮頸がんの無料クーポン配布、中学卒業までの入院に係る子ども医療費無料拡充、自主防災組織への助成と防災意識の高揚を図る、「よこまちの杜」の開設など市民協働の公園整備、吉川中央排水区の第一調整池の整備、新栄地区の道路改良工事、吉川美南駅の建設工事開始、認定農業者の育成と確保、地元農産物のPR、農業用排水路整備、「一店逸品事業」や「吉川市エコショップ」認定事業の拡大と充実、ラッピーカード交換ポイント補助、北谷小学校と南中学校の耐震・大規模改修工事の実施やスクールニューディール構想から、太陽光発電パネル設置や全小中学校への電子黒板・デジタルテレビの設置、屋外市民プールのリニューアルオープンなどが挙げられます。今後も市を取り巻く財政は厳しいものと見込まれますが、財源の安定的な確保と健全な財政運営への取り組みをさらに推進することを希望しまして、賛成討論とします。

吉川美南駅イメージ